

◆◆◆◆◆
安里 周作 議員



◆◆◆◆◆
新型コロナウイルス感染症対策について

質 専門学校、大学生、大学院生の支援について、世帯のアンケートによる支援及び実態把握の実施は行われたのか。

答 学校教育課長 石川 司

大学生のいる世帯のアンケートは実施されていません。高校生のいる保護者を対象にアンケートを取って集約している。アンケートは大学、専門学校への進学も選択肢を設けてやっています。今後必要に応じて、大学生のいる世帯へのアンケートの方法も併せて考えたい。

質 高校生へのアンケート、具体的な結果は出ていないか。

答 学校教育課長 石川 司

中間内容は、高校生に対して212名、約66・9%の実績がありました。今見えているのが、卒業後に就職を希望している選択が約20%占めていました。村の就学支援を受けているパーセントに近いものが見えてきた。今まで手を付けていなかった部分も、検討していたらと思います。

質 専門学校、大学生等の実態把握、情報交換等を行い、恩納村に関心を持ってもらう事業として考えはありますか。

答 学校教育課長 石川 司

大学生、専門学校、短大を含めて、また財源も含めて、これから制度設計もやっていきたいと思えます。今後高校、大学あたりにつなぐ、いわゆる隙間であるところまで手をつけていきたいと思えます。

◆◆◆◆◆
万座毛の環境整備について

質 万座毛保存管理活用計画書の目的で、基本方針の芝生の修復と保護増殖実施事業があります。

その内容を伺います。

答 社会教育課長 長浜健一

植栽の事業を行っております。これは踏圧や水の影響により、芝や土の損傷が激しく、植物と景観が損なわれたため、修復事業として高麗芝の保護増殖事業を実施いたしました。

質 全体ではなく、一部分ということで理解してよろしいか。

答 社会教育課長 長浜健一

万座毛の高麗芝、よそからの移植ができないものですから、ここにあるものを移植して事業として行ったと聞いております。

質 事業として全体的な芝生管理の考えは持っていないか伺えます。

答 社会教育課長 長浜健一

芝生の保護、増殖が必要な箇所については、万座毛保存管理活用計画書に基づいて、関係機関と調整及び協議し実施していきたいと考えております。

質 万座毛の保存管理の基本方針で、名勝及び天然記念物に指定された当時の状況を指し、保護管理を実施していくという事で、当時の景観のイメージがどの



植物と景観が損なわれた万座毛

ような感じであったと思うか伺います。

答 社会教育課長 長浜健一

文献とか写真等を見ると、波に削られた琉球石灰岩の断崖上に芝生の広場が広がっている。断崖上の広場は青い芝生で岩の上や断崖には貴重な植物が生えているというイメージです。

質 管理計画書の中の今後の課題を伺います。

答 社会教育課長 長浜健一

今後の課題、1から10までの3番で、モニタリング事業については令和元年度から実施しております。(4)の植物については、引き続き景観等の写真等を撮りながら実施していく。

◆◆◆◆◆
吉山盛次郎 議員



◆◆◆◆◆
真栄田漁港グラウンド照明施設撤去後に再整備実施する是非について

質 真栄田漁港グラウンド照明施設が撤去されています。よって山田校区の照明を有する運動場は限定される。集約化という事、これは公平性を保っているのかどうかお答えください。

答 社会教育課長 長浜健一

照明施設の老朽化に伴う落下の危険性から今年の5月末に撤去、再整備は体育施設の集約化、利用状況、支柱やグラウンド全体の整備、財源等も含め関係課と検討したい。

◆◆◆◆◆
中学校統合後の小学校経営の継続的・計画的運営について

質 村内の小学校に相応の施設運営について、どのような指針を持たれているのか。

答 学校教育課長 石川 司

小学校施設運営についての公の指針という策定はしてません。空き教室等を学童クラブ、体育館及び運動場は現状の活用方法で施設運営を行い、今年度、喜瀬武原小学校プールを休止、安富祖小学校プールの移動教室での試験運用を行っている。

質 中学統合前後、村内6校の財政に係る試算を伺います。

答 学校教育課長 石川 司

当初予算は小学校管理費で約9百万円余り増、中学校では3千8百万円余り増、制服購入の5百万円余りとスクールバス運行委託料の3千7百万円余りが増の大きな要因。中学校統合前後の財政的負担の詳細は、9月決算で細かく分析できる。

質 統合中学校ができたということで運動場、教室も含めて整備に手が回らない。地域社会に関

わりと連携をどう考えてますか。

答 学校教育課長 石川 司

今年度、学校運営協議会制度が開始され地域PTA、学校も含めて運営のやり方を決めていきます。学校長会で中学生が地域に入って、仮に地域の日を設定して、出身の小学校で地域と一緒作業、運動会時期の草刈りなどを提案している。

◆◆◆◆◆
GIGAスクール構想について

質 中学校では予算が補正で組まれて、今度小学校での整備、財源・人材に係る具体的な構想とある。大きな予算をかけることによつて、どういふことを期待しているのか。

答 学校教育課長 石川 司

世界に対応できる子供たちの育成ということで、将来1人1台の端末での操作の職業がほとんどになってくる。これからの社会を見据えて導入を図っている。

質 これによつて学力向上は期待できるのか。

答 学校教育課長 石川 司

将来的には学力も含めて、大きなテーマとして生きる力という

ころにあると思います。

質 政治というのは優先順位でしよう。うんな中学という目新しい立派なものができる。そしてGIGAができて設置するという。そういうものに目がいつて財政をつぎ込んで、子供たちに生命教育として身に付けなければいけないものに手が回らないと言っています。

答 学校教育課長 石川 司

財源的に厳しいということではないので、施設係と予算も可能な範囲で対応したい。

◆◆◆◆◆
県道6号線沿線の交通事故等及び係る開発について

質 国内の観光が解除されると、沖縄にも多くの観光客が来る。山田から宇加地にかけて路線に対応した打開策はあるか。

答 建設課長 屋良朝也

塩屋から宇加地にかけては信号がない状況で、信号の増設や滑り止め舗装などを施す必要がある。地域の声など、中部土木事務所や公安委員会との協議が必要となってくると思えます。